

16. 男女共同参画について

(1) 家事・育児・介護それぞれに費やした時間

※月曜日から土曜日は1日3時間程度（3時間×6日＝18時間）、日曜日は1日2時間程度（2時間×1日＝2時間）を費やしている場合、回答は「20時間」となります。また、育児、介護について、対象者がいない場合は、「対象者なし」に○を付けてください。

◇ 「7時間以上21時間未満」が4割半ば

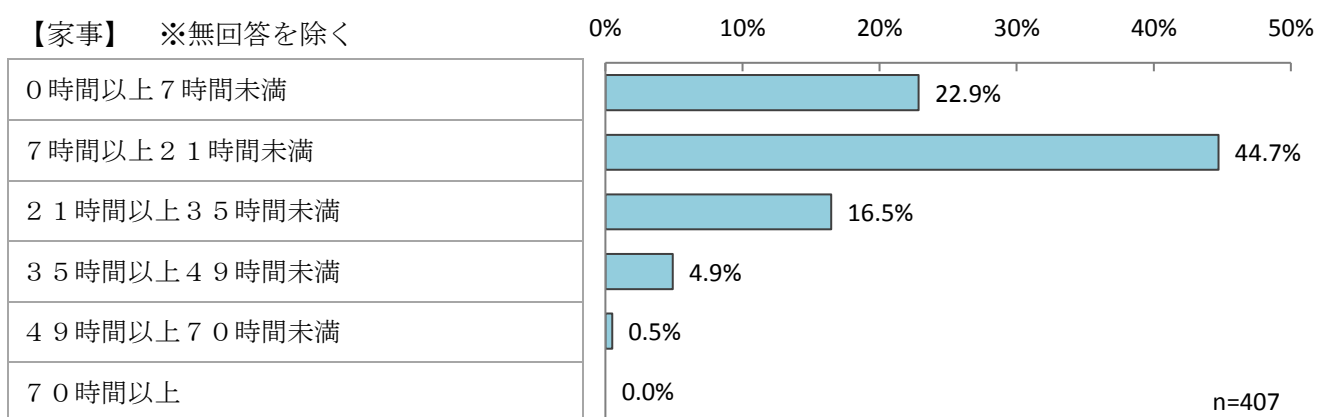
問53 1週間の生活の中で、家事・育児・介護におおよそどの程度の時間を費やしたかお答えください。

【家事】

回答	割合	n=407
1 0時間以上7時間未満	22.9%	
2 7時間以上21時間未満	44.7%	
3 21時間以上35時間未満	16.5%	
4 35時間以上49時間未満	4.9%	
5 49時間以上70時間未満	0.5%	
6 70時間以上	0.0%	
(無回答)	10.6%	

<図IV-16-1>全体

【家事】 ※無回答を除く



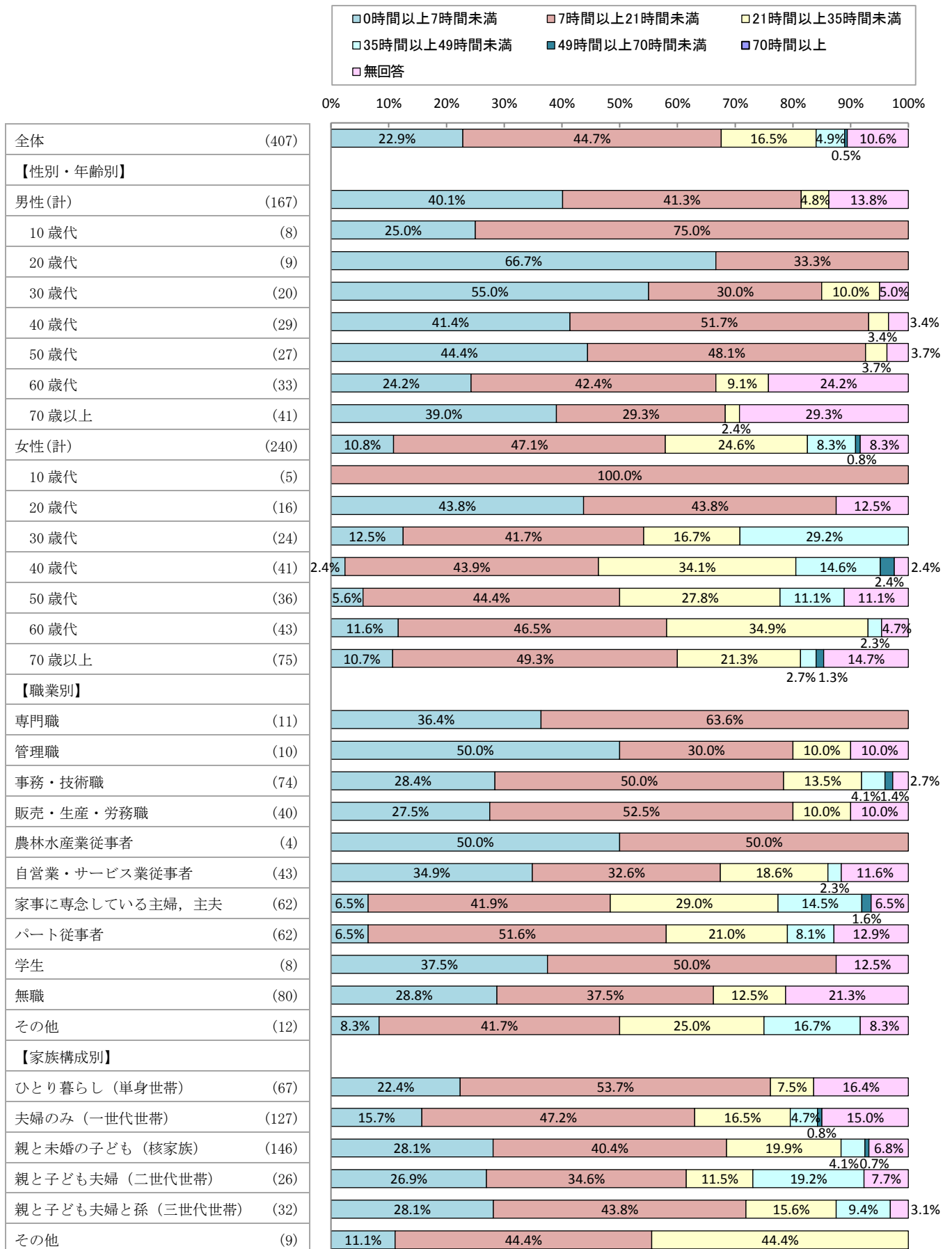
家事に費やした時間については、「7時間以上21時間未満」が44.7%で最も高く、次いで「0時間以上7時間未満」が22.9%、「21時間以上35時間未満」が16.5%であった。（図IV-16-1）

性別・年齢別で見ると、「7時間以上21時間未満」は<女性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/10歳代>が75.0%であった。「0時間以上7時間未満」は<男性/20歳代>が66.7%で最も高く、次いで<男性/30歳代>が55.0%であった。「21時間以上35時間未満」は<女性/60歳代>が34.9%で最も高く、次いで<女性/40歳代>が34.1%であった（図IV-16-2）

職業別で見ると、「7時間以上21時間未満」は<専門職>が63.6%で最も高く、次いで<販売・生産・労務職>が52.5%であった。「0時間以上7時間未満」は<管理職><農林水産業従事者>が50.0%で最も高く、次いで<学生>が37.5%であった。「21時間以上35時間未満」は<家事に専念している主婦、主夫>が29.0%で最も高かった。（図IV-16-2）

家族構成別で見ると、「7時間以上21時間未満」は<ひとり暮らし（単身世帯）>が53.7%で最も高かった。「0時間以上7時間未満」は<親と未婚の子ども（核家族）><親と子ども夫婦と孫（三世帯世帯）>が28.1%で最も高かった。「21時間以上35時間未満」は<その他>を除くと、<親と未婚の子ども（核家族）>が19.9%で最も高かった。（図IV-16-2）

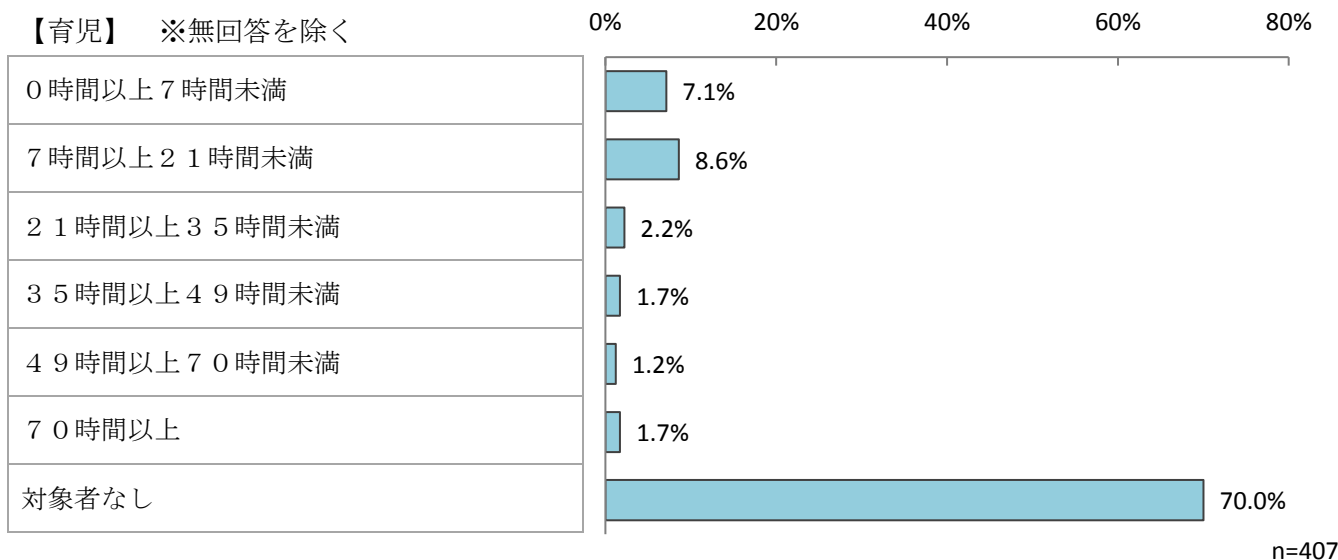
<図IV-16-2>性別・年齢別／職業別／家族構成別



◇ 「7時間以上21時間未満」が約1割（「対象者なし」を除く）

【育児】			n=407
1	0時間以上7時間未満		7.1%
2	7時間以上21時間未満		8.6%
3	21時間以上35時間未満		2.2%
4	35時間以上49時間未満		1.7%
5	49時間以上70時間未満		1.2%
6	70時間以上		1.7%
7	対象者なし		70.0%
	(無回答)		7.4%

<図IV-16-3>全体



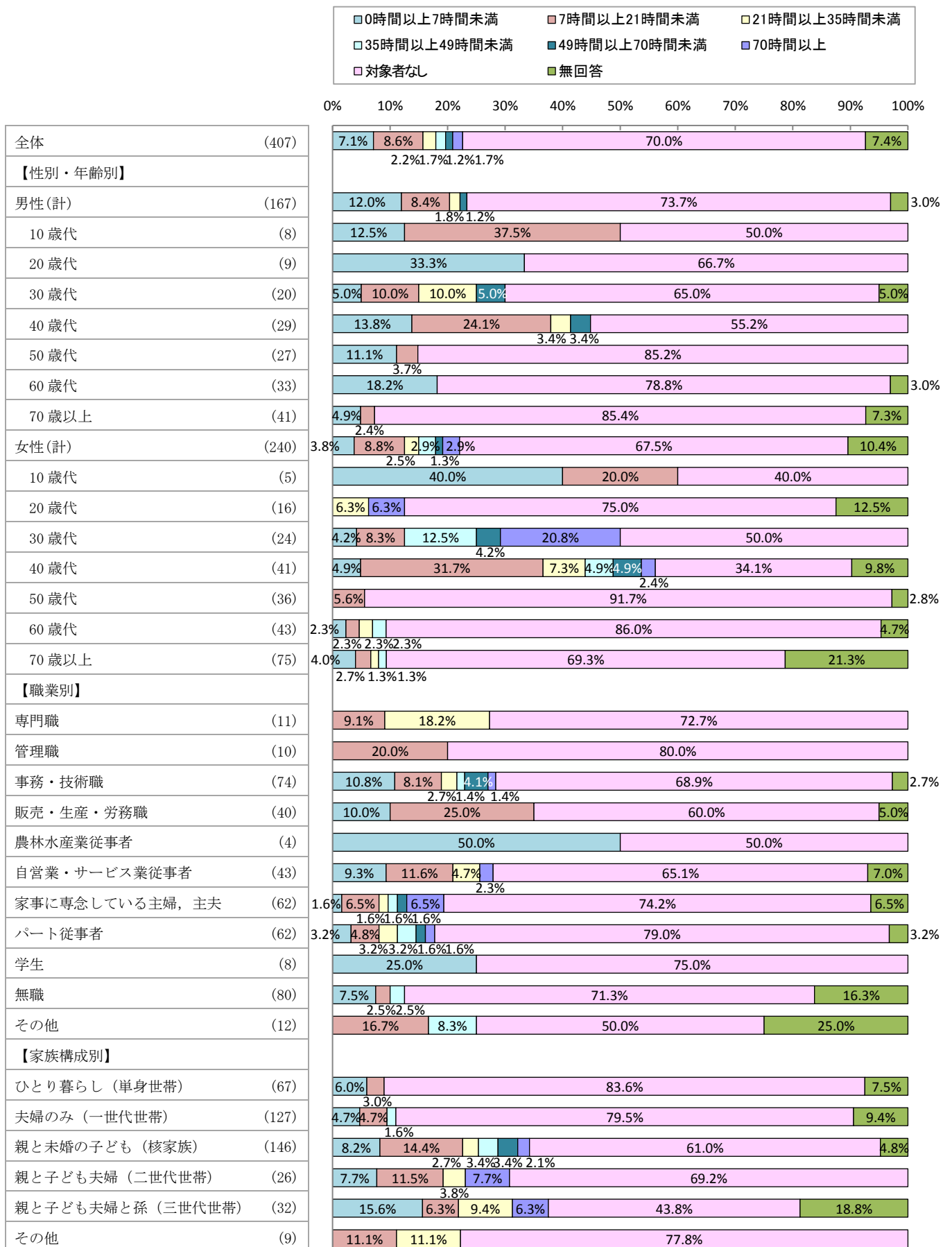
育児に費やした時間については、「対象者なし」を除くと、「7時間以上21時間未満」が8.6%で最も高く、次いで「0時間以上7時間未満」が7.1%であった。（図IV-16-3）

性別・年齢別で見ると、「7時間以上21時間未満」は<男性/10歳代>37.5%で最も高く、次いで<女性/40歳代>が31.7%であった。（図IV-16-4）

職業別で見ると、「7時間以上21時間未満」は<販売・生産・労務職>が25.0%で最も高く、次いで<管理職>が20.0%であった。（図IV-16-4）

家族構成別で見ると、「7時間以上21時間未満」は<親と未婚の子ども（核家族）>が14.4%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が11.5%であった。（図IV-16-4）

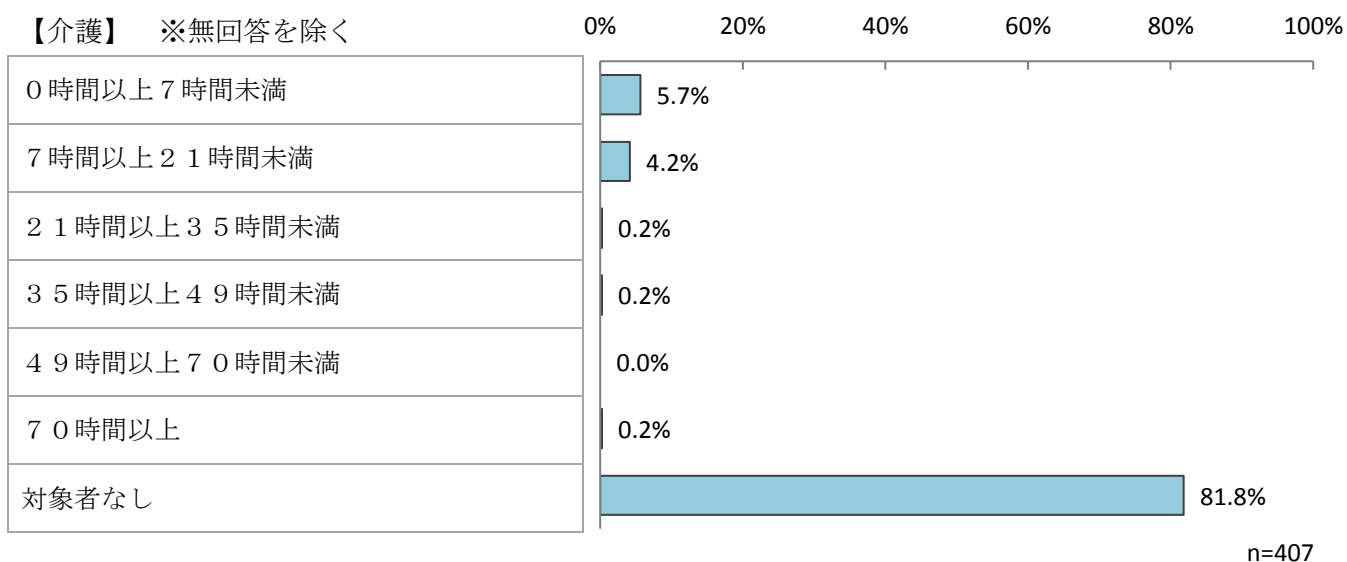
<図IV-16-4>性別・年齢別／職業別／家族構成別



◇ 「0時間以上7時間未満」が1割弱に満たず（「対象者なし」を除く）

【介護】			n=407
1	0時間以上7時間未満		5.7%
2	7時間以上21時間未満		4.2%
3	21時間以上35時間未満		0.2%
4	35時間以上49時間未満		0.2%
5	49時間以上70時間未満		0.0%
6	70時間以上		0.2%
7	対象者なし		81.8%
	(無回答)		7.6%

<図IV-16-5>全体



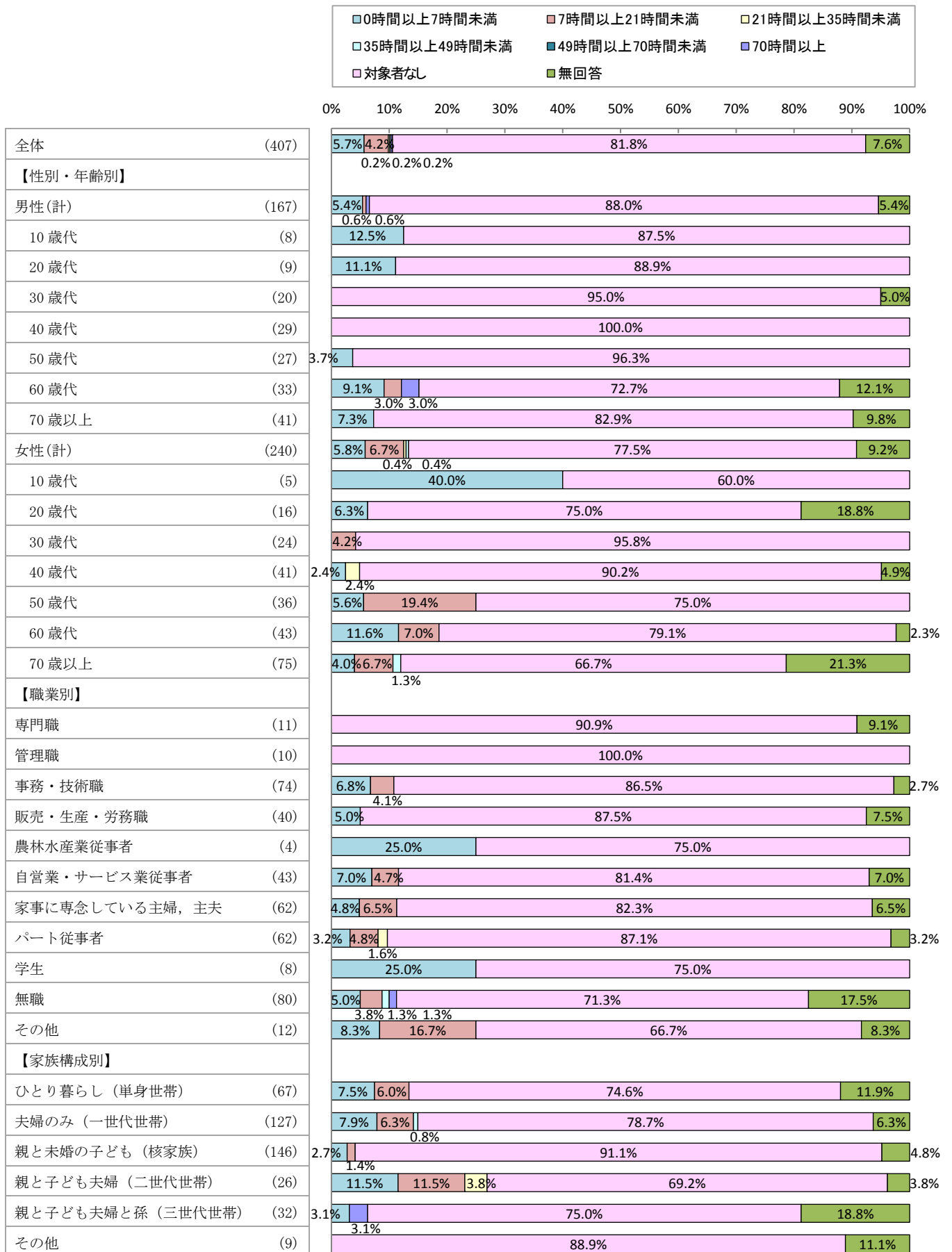
介護に費やした時間については、「対象者なし」を除くと、「0時間以上7時間未満」が5.7%で最も高く、次いで「7時間以上21時間未満」が4.2%であった。（図IV-16-5）

性別・年齢別で見ると、「0時間以上7時間未満」は<女性/10歳代>が40.0%で最も高く、次いで<男性/10歳代>が12.5%であった。（図IV-16-6）

職業別で見ると、「0時間以上7時間未満」は<農林水産業従事者><学生>が25.0%で最も高かった。（図IV-16-6）

家族構成別で見ると、「0時間以上7時間未満」は<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が11.5%で最も高く、次いで<夫婦のみ（一世帯世帯）>が7.9%であった。（図IV-16-6）

<図IV-16-6>性別・年齢別／職業別／家族構成別

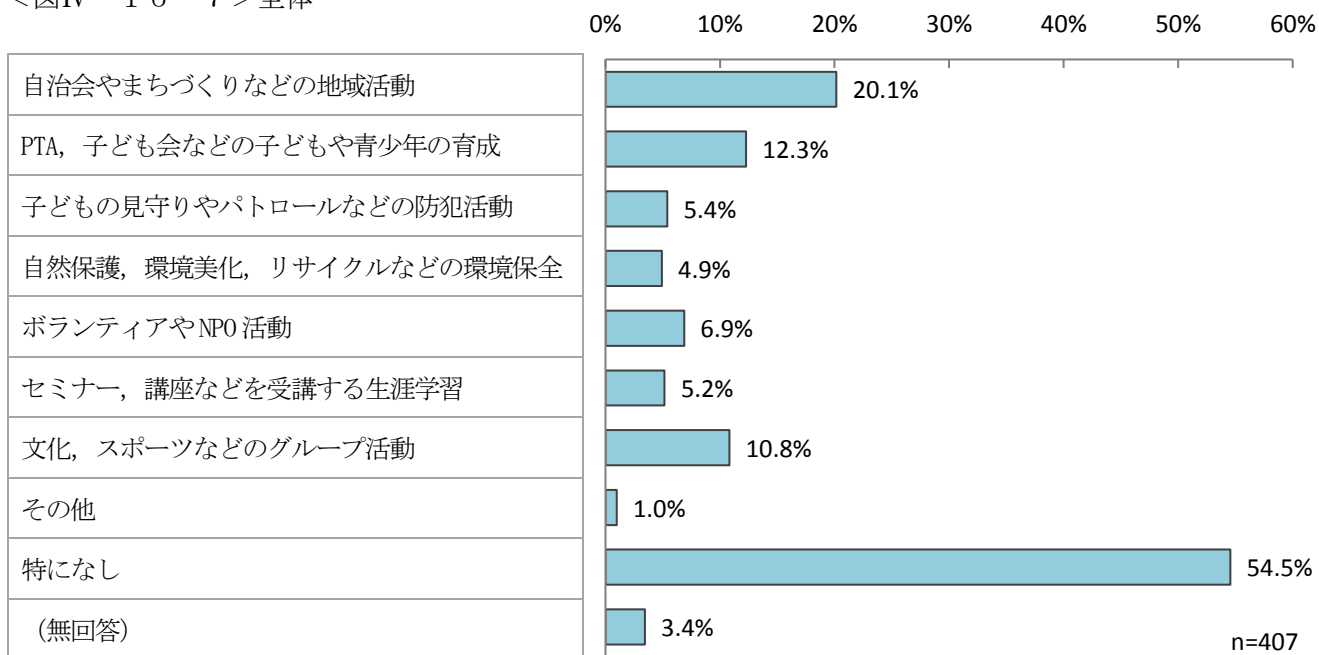


(2) 社会的な活動の実施状況

◇ 「特になし」が5割半ば

問5 4	現在，地域などで社会的な活動を行なっていますか。	(○はいくつでも)
		n=407
1	自治会やまちづくりなどの地域活動	20.1%
2	PTA，子ども会などの子どもや青少年の育成	12.3%
3	子どもの見守りやパトロールなどの防犯活動	5.4%
4	自然保護，環境美化，リサイクルなどの環境保全	4.9%
5	ボランティアやNPO活動	6.9%
6	セミナー，講座などを受講する生涯学習	5.2%
7	文化，スポーツなどのグループ活動	10.8%
8	その他	1.0%
9	特になし	54.5%
	(無回答)	3.4%

<図IV-16-7>全体



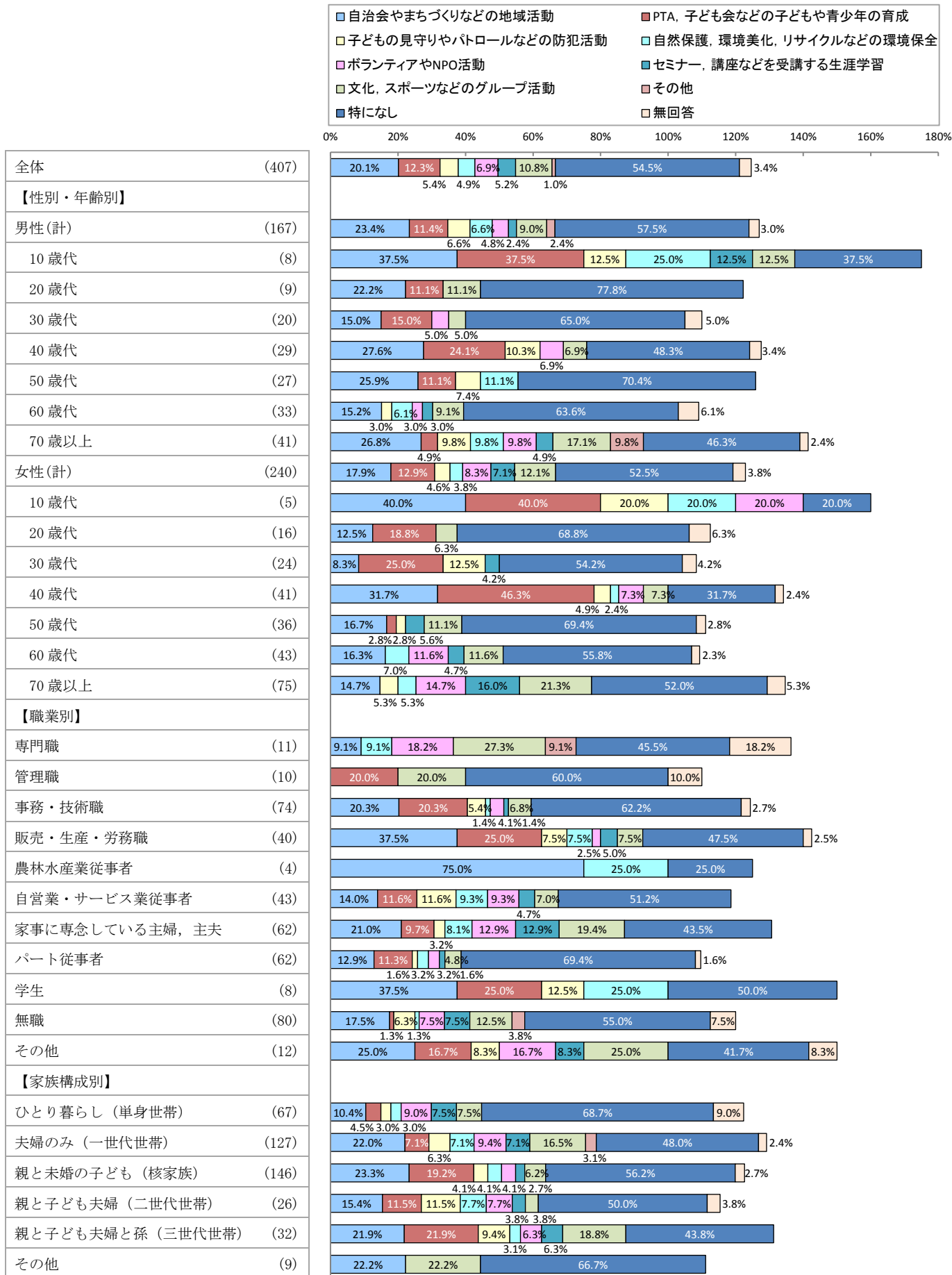
社会的な活動の実施状況については、「特になし」が54.5%で最も高く、次いで「自治会やまちづくりなどの地域活動」が20.1%、「PTA，子ども会などの子どもや青少年の育成」が12.3%と続いている。(図IV-16-7)

性別・年齢別で見ると、「特になし」は<男性/20歳代>が77.8%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が70.4%であった。「自治会やまちづくりなどの地域活動」は<女性/10歳代>が40.0%で最も高く、次いで<男性/10歳代>が37.5%であった。(図IV-16-8)

職業別で見ると、「特になし」は<パート従事者>が69.4%で最も高く、次いで<事務・技術職>が62.2%であった。「自治会やまちづくりなどの地域活動」は<農林水産業従事者>が75.0%で最も高く、次いで<販売・生産・労務職><学生>が37.5%であった。(図IV-16-8)

家族構成別で見ると、「特になし」は<ひとり暮らし(単身世帯)>が68.7%で最も高かった。「自治会やまちづくりなどの地域活動」は<親と未婚の子ども(核家族)>が23.3%で最も高かった。(図IV-16-8)

<図IV-16-8>性別・年齢別／職業別／家族構成別



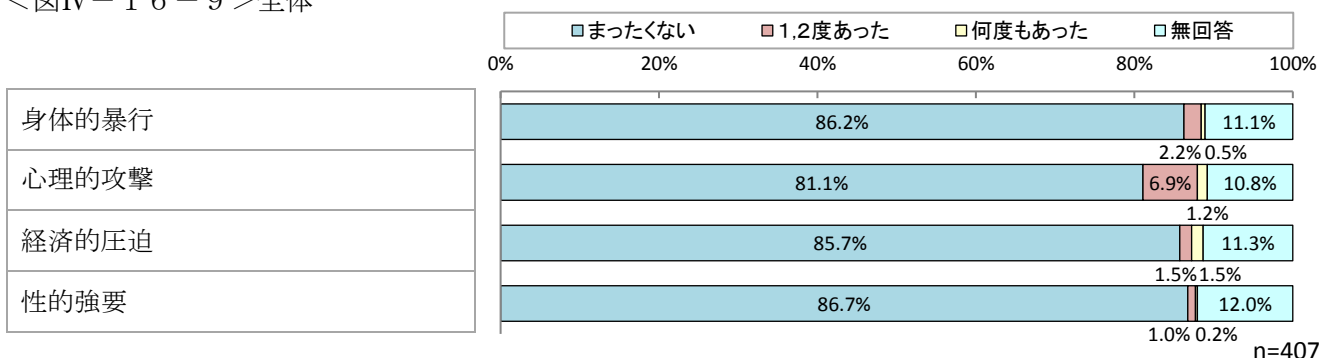
(3) 配偶者等からの暴力を受けた経験

◇ 「何度もあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり (計)】は、「心理的攻撃」が1割弱

問55 過去1年間に配偶者から、次のような暴力を受けたことがありますか。
(それぞれ項目ごとに○は1つ)
n=407

	項目	まったく ない	1, 2度 あった	何度も あった	無回答
1	身体的暴行 (例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)	86.2%	2.2%	0.5%	11.1%
2	心理的攻撃 (例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	81.1%	6.9%	1.2%	10.8%
3	経済的圧迫 (例えば、生活費を渡さない、給料や貯金を使われる、外で働くことを妨害されるなど)	85.7%	1.5%	1.5%	11.3%
4	性的強要 (例えば、嫌がっているのに性的な行為を強要される、見たくないポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど)	86.7%	1.0%	0.2%	12.0%

<図IV-16-9>全体



過去1年間に配偶者から、暴力を受けたことがあるかについて、「何どもあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり (計)】の割合は、「心理的攻撃」が8.1%で最も高く、次いで「経済的圧迫」が3.0%、「身体的暴行」が2.7%、「性的強要」が1.2%であった。(図IV-16-9)

さらに暴力の種類ごとに性別・年齢別でみると【経験あり (計)】が最も多かったのは、「心理的攻撃」で<女性/40歳代>が19.5%で最も高く、「身体的暴行」「経済的圧迫」は、いずれも<男性/20歳代>が11.1%、「性的強要」は<女性/30歳代>が4.2%であった。(図IV-16-10~図IV-16-13)

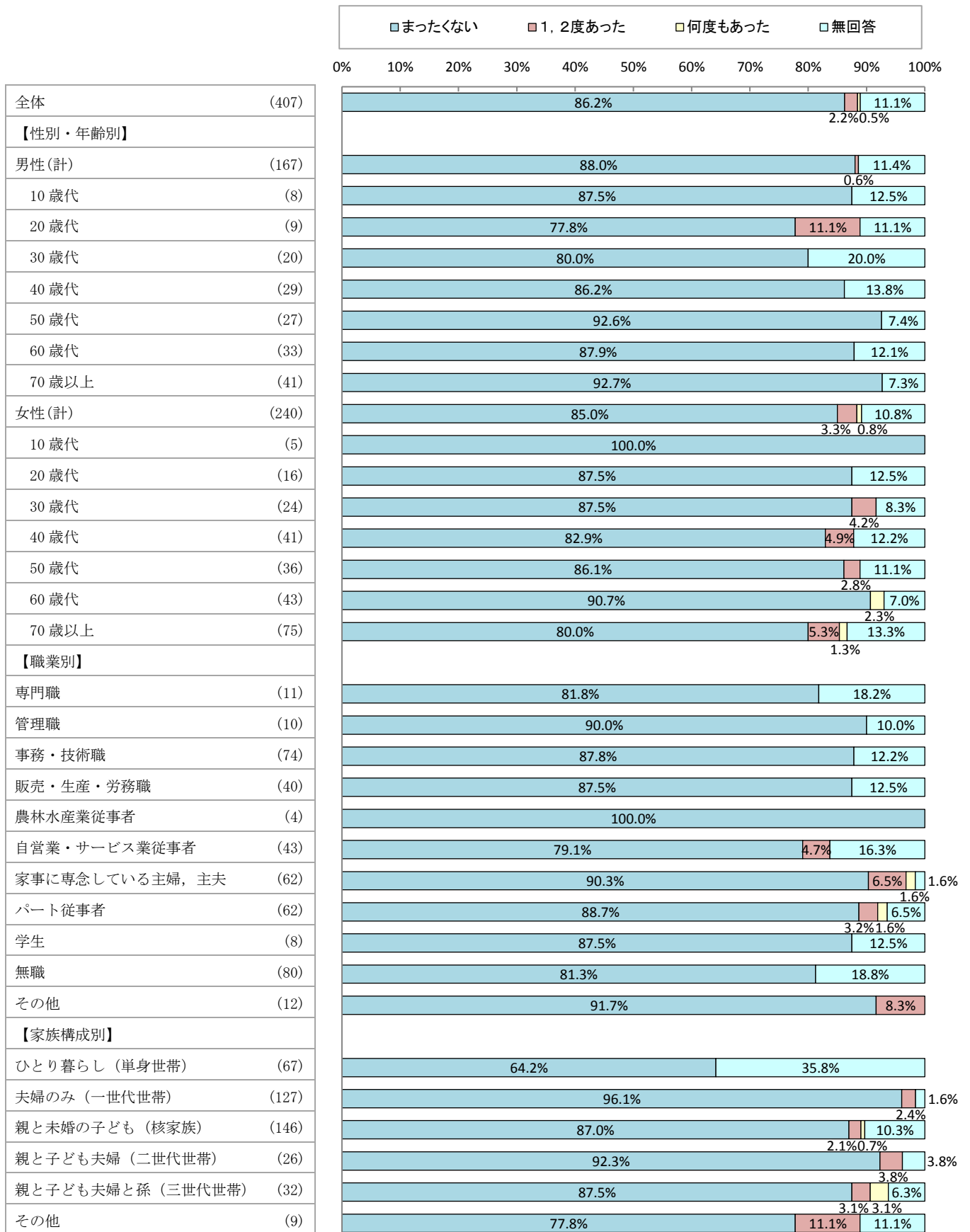
暴力を受けたことがある(総合)について性別でみると、【経験あり (計)】は<女性>が5.5%、<男性>が1.3%で<女性>が高かった。性別・年齢別でみると、【経験あり (計)】は<女性/40歳代>が8.5%で最も高かった。(図IV-6-14 総合)

暴力を受けたことがある(総合)について職業別でみると、【経験あり (計)】は<その他>を除くと、<家事に専念している主婦、主夫>が7.2%で最も高かった。(図IV-6-14 総合)

暴力を受けたことがある(総合)について家族構成別でみると、【経験あり (計)】は<その他>を除くと、<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が7.1%で最も高かった。(図IV-6-14 総合)

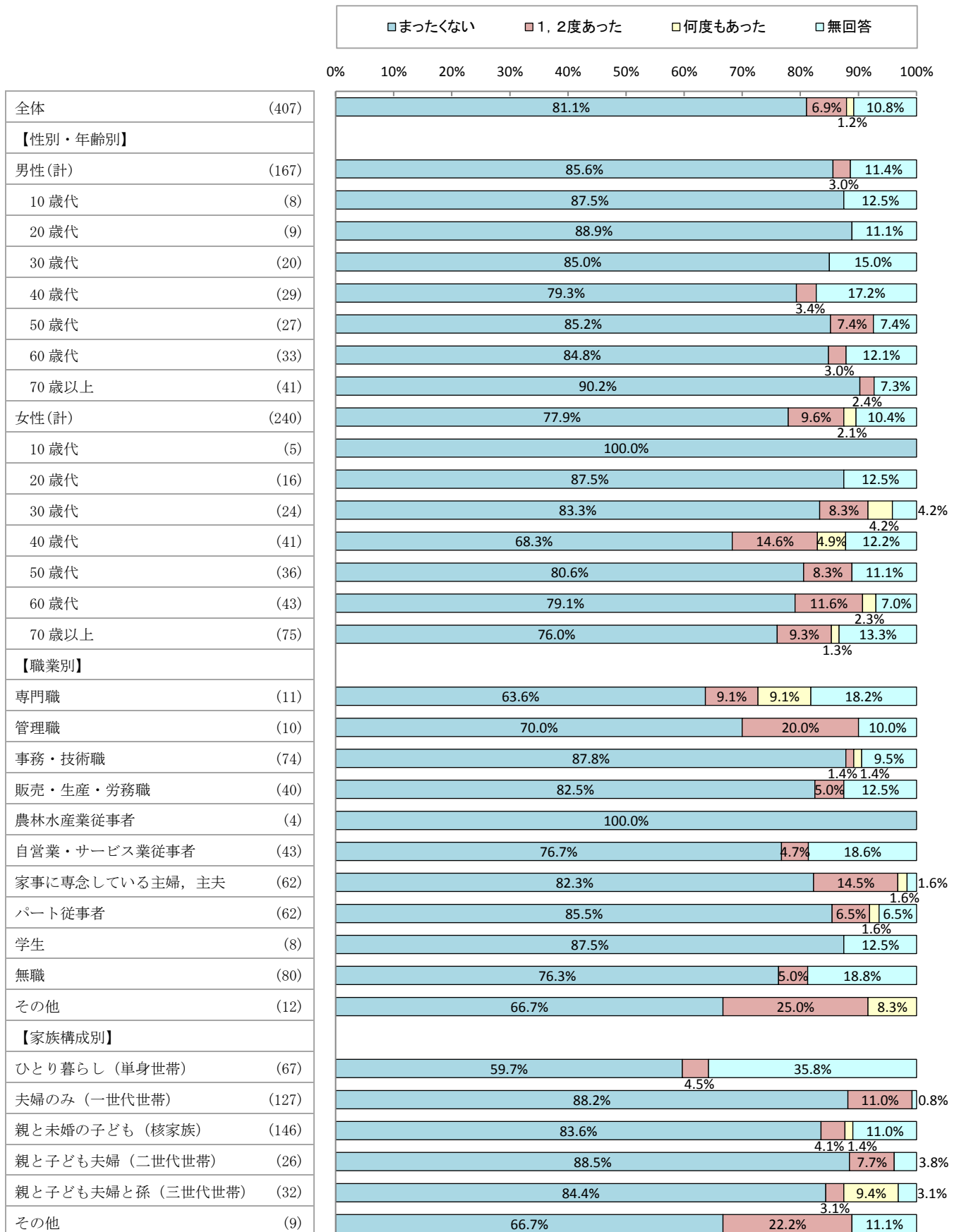
①身体的暴行

<図IV-16-10>性別・年齢別／職業別／家族構成別



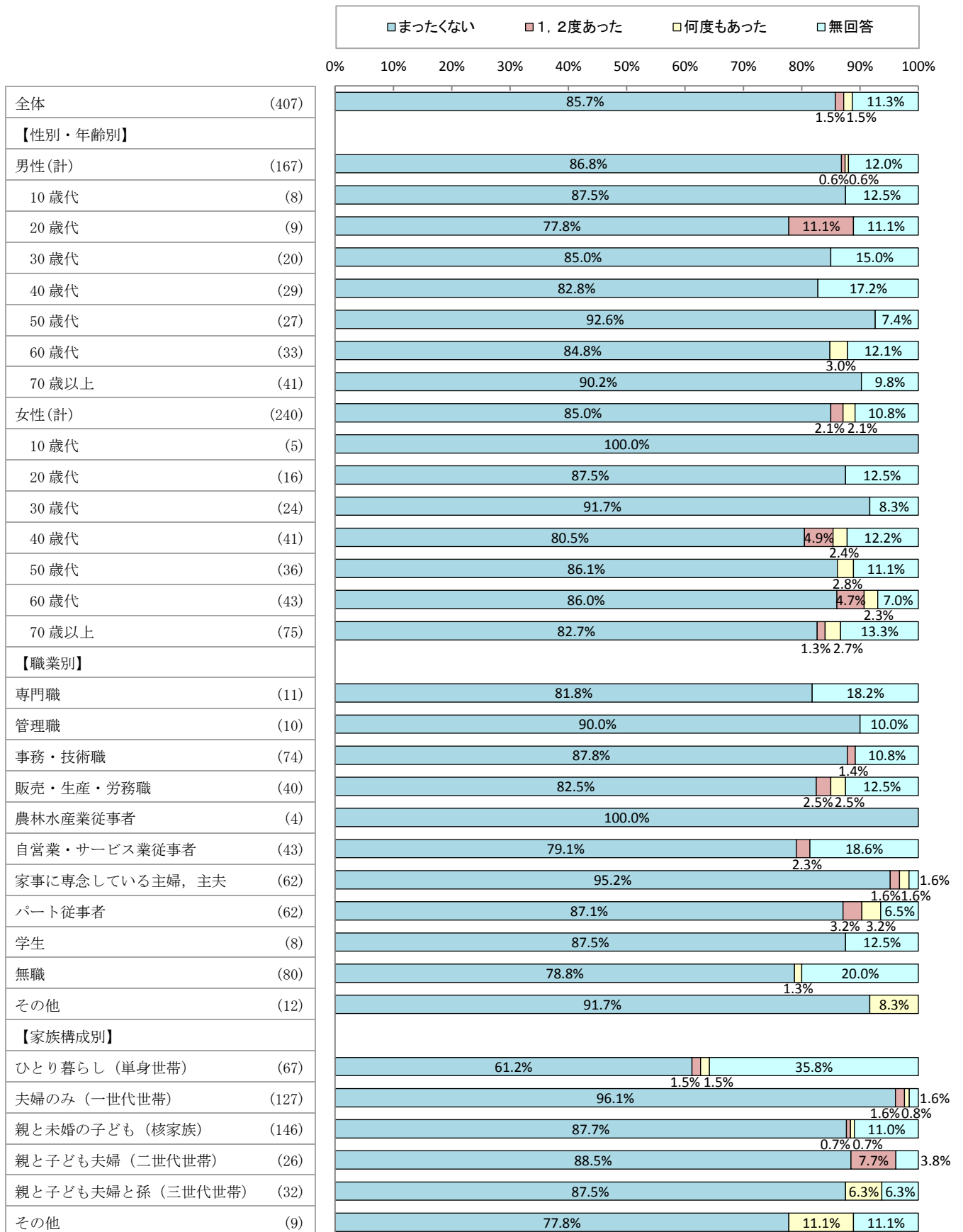
②心理的攻撃

<図IV-16-11>性別・年齢別／職業別／家族構成別



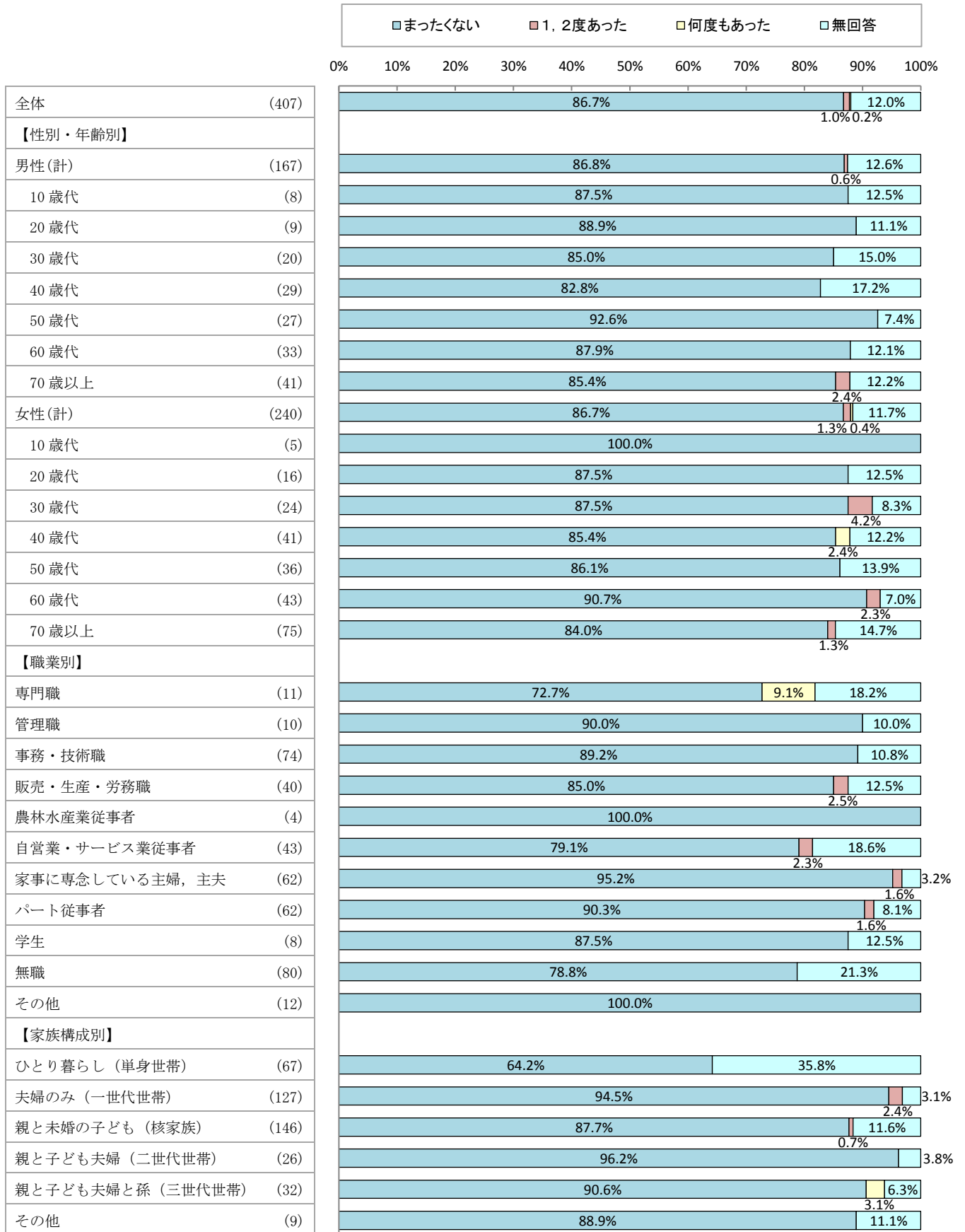
③経済的圧迫

<図IV-16-12>性別・年齢別／職業別／家族構成別



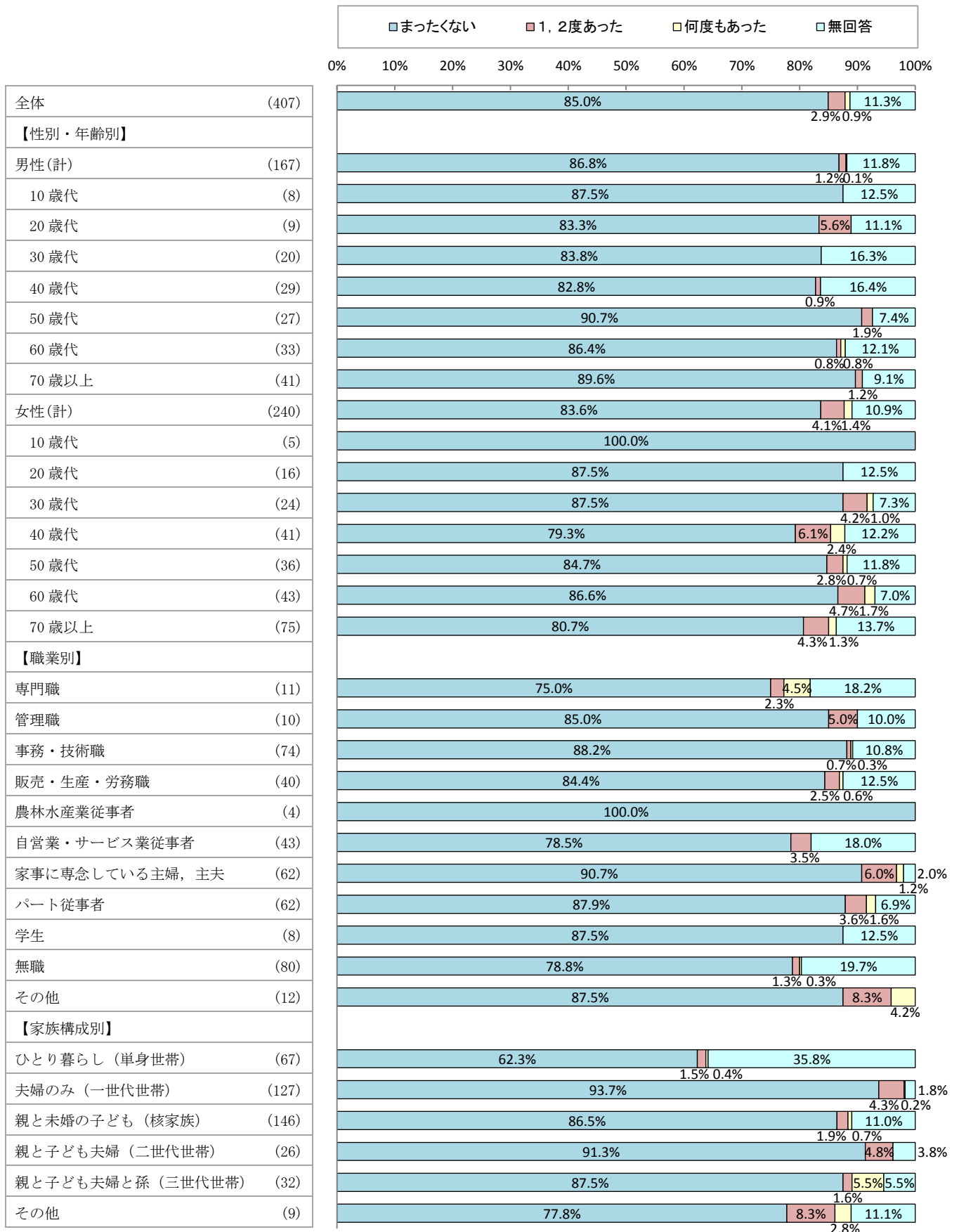
④性的強要

<図IV-16-13>性別・年齢別／職業別／家族構成別



⑤暴力を受けたことがある（総合）

<図IV-16-14>性別・年齢別／職業別／家族構成別



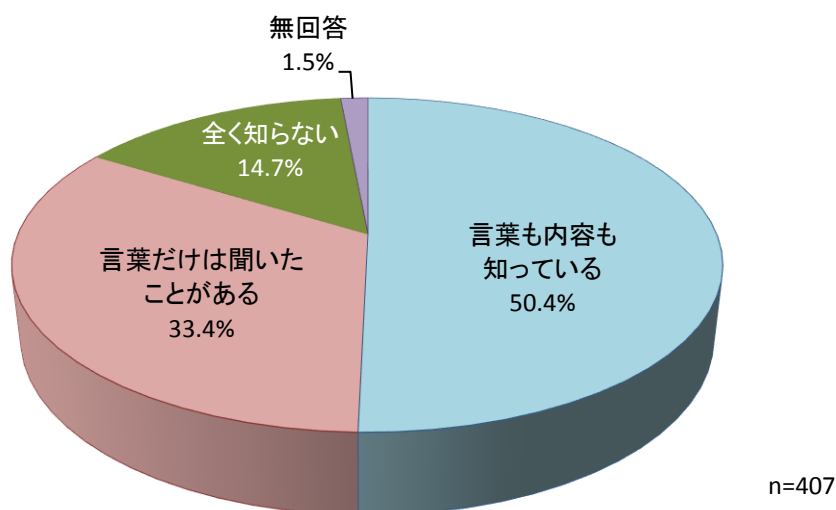
(4) LGBT (エルジービーティー) の認知度

◇ 「言葉も内容も知っている」が約5割

問56 LGBT (エルジービーティー) ※という言葉について聞いたことがありますか。
 ※L (レズビアン・女性同性愛者), G (ゲイ・男性同性愛者), B (バイセクシャル・両性愛者),
 T (トランスジェンダー・からだところの性が一致せず, 性別に違和感を覚える人) の4つの
 単語の頭文字をとった言葉で, 性的マイノリティー (性的少数者) を表す総称のひとつ
 (○は1つ)

	n=407
1 言葉も内容も知っている	50.4%
2 言葉だけは聞いたことがある	33.4%
3 全く知らない	14.7%
(無回答)	1.5%

<図IV-16-15>全体



LGBT (エルジービーティー) の認知度については、「言葉も内容も知っている」が 50.4%で最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」が 33.4%、「全く知らない」が 14.7%であった。(図IV-16-15)

性別・年齢別で見ると、「言葉も内容も知っている」は<女性/40歳代>が 75.6%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が 69.0%であった。「言葉だけは聞いたことがある」は<女性/70歳以上>が 54.7%で最も高く、次いで<男性/70歳以上>が 43.9%であった。(図IV-16-16)

職業別で見ると、「言葉も内容も知っている」は<事務・技術職>が 68.9%で最も高く、次いで<専門職>が 63.6%であった。「言葉だけは聞いたことがある」は<その他>を除くと、<農林水産業従事者>が 75.0%で最も高く、次いで<管理職><無職>が 40.0%であった。(図IV-16-16)

家族構成別で見ると、「言葉も内容も知っている」は<その他>を除くと、<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が 57.7%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども(核家族)>が 55.5%であった。「言葉だけは聞いたことがある」は<ひとり暮らし(単身世帯)>が 40.3%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が 37.5%であった。(図IV-16-16)

<図IV-16-16>性別・年齢別／職業別／家族構成別

